

はじめまして。私はオイビンと申します。オスロ大学二年生です。今日は漢字について話したいと思います。

日本語は全部ひらがなで書けますが、日本人はまだ漢字を使います。私は初めて日本語を習った時『どうしてだろう』と思いました。『日本語を書くことがとても大変になる』と感じたからです。でもその後で漢字がとても便利だと気がつきました。

まず、日本語では書く時に英語のように単語の間にスペースを使わないので、ひらがなだけしか使わない文は読むのがとても難しいです。

次に、漢字は中国から借りたものですが、いまではすばらしい日本の文化だと思うし、私は習字も興味があるので、漢字のおかげで日本語を学ぶことがもっと面白くなりました。今では、日本語の中で、漢字が一番楽しくて面白いと思っています。

漢字はへんづくりでできています。左の漢字がへんで、右の漢字がつくりです。たとえば、好きという漢字は「女」というへんと子供の『子』というづくりです。母親と子供が一緒にいたら、だれでも幸せになれますから、好きといういみになります。

また、娘という漢字は「女」というへんと「良」（い）という漢字がつくりです。娘は『よい女の子』と考えれば簡単に覚えられます。

こうやって私はもっとむずかしい漢字も覚えめました。たくさん漢字を使えると頭がいい人に見えますね。ですから私はこれからも、もっと漢字を習って、将来は漢字の達人になりたいと思っています。

ご清聴ありがとうございました。